

---

# 嬉野日記date5/10

ハルメク

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

嬉野日記 date 5 / 10

### 【Nコード】

N5553A

### 【作者名】

ハルメク

### 【あらすじ】

嬉野三田彦的厭世観が展開します。

今日からテスト発表ということなので、各教科の出題範囲が教室内にある掲示板上に掲示されておりました。

しかしワタクシの人的価値は低いようで、出題範囲を見ようとする横から来たクラスメイトに押し退けられその隙を狙ったのか後ろから来た人の波に遮断されて出題範囲が見れなくなりました。

しかしまあ人が誰もいなくなってから範囲を確認出来たので善哉であります。

・・・はい。こういう口調もとい文体は辞めて、日記調でいこう。テストではまず数学が嫌だね。

数学なんて学問は昔の上位ギリシャ人とかが奴隷を働かせておいた間に作り出したものだ。奴隷を働かせておいて自分は学問に耽るなんて不平等か。

それに比べ、国語や古典は良い。プロレタリア文学、純文学、方丈記、などなど数学のような階級的支配の上に成り立ってきたものとは違い、しかもそれ自体が皆人に対して平等である。

平等万歳。願うのは平等のみ。僕はそれだけを望むね。

嬉野三田彦は筆を置いた。いつものように芋虫体勢でベッドに潜り込んでいる。

「うう。あうー。うおうおうー」

意味不明のうめき声をあげた。

嬉野のベッドにはマットレスではなく布団を敷く型のものである。敷いた布団に顎をこすりつけ時間の無駄遣いをするのが嬉野は好き

だった。その時にあの呪文のようなうめき声を上げるのは常だ。

「安らぐ。とても安らぐ。僕を守ってくれるのはこの布団だけだね」

見えない傷だらけの嬉野三田彦の体を癒してくれるのは、布団だけだった。体にそつと優しく触れてくれ、傷を治してくれる。

率直といえは率直で、嬉野三田彦は布団と本と食料さえあれば他には何もいらないうという男である。良い服も香水も騒がしい娯楽もいらないうだった。どちらかというところを忌避するほうである。

「ブランド物なんて、値段が高いだけで特別ではないような気がするね。ただ見せびらかしたいとかそういう顕示欲が強い人が買っただろうね」

嬉野三田彦は内向的なのでまったく表に自分を出さない。顕示欲の欠片もない。

「香水も、どうなんだろう。男子も最近、そういう香りを匂わしている人もいる。でもそれが集団になってくると悪臭公害の何者でもないような気がする。人間ってある程度の体臭は仕様がなの。人間って動物であることを隠したいんだろうね。」

若者的なことはいらない嬉野三田彦である。

「騒がしいのも嫌いだね。漱石沈流を意味的に正しくしたら漱流沈石かな。そういう暮らしが僕は良いね」

厭世観を持っているのが嬉野三田彦である。

「つまるところ、僕は厭世家で社会不適合者なんだね。Q.E.D.でも僕としては望むところなんだね」

それが嬉野三田彦。

「しかし世界とか日本とか社会とかの真意が解らないんだよ」

それが嬉野三田彦の答え。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5553a/>

---

嬉野日記date5/10

2010年10月24日09時41分発行